

# 技術者の会 “ニュースレター”(issue10)

Professional Engineers Association of Urban Disaster Preparedness

発行日：平成 18 年 7 月 8 日  
事務局：(太田ジオリサーチ内)  
都市災害に備える技術者の会  
〒651-1432  
兵庫県西宮市すみれ台 3 - 1  
TEL:078-907-3120 FAX: 078-907-3123  
URL:http://toshisaigai.net/  
e-mail: office@toshisaigai.net

## TOPICS

- 1. 理事長ご挨拶..... 1
- 2. 活動報告..... 1
- 3. 事務局より..... 4

### 1. 理事長ご挨拶

暑中お見舞い申し上げます

理事長 笹山幸俊

会員や関係者の皆様には益ますご健勝のことと拝察いたします。

さて昨年来、学識経験者や公共団体の皆様と進めて参りました、都市災害に備える防災・減災のネットワークづくりと、公共団体職域で貴重な体験をされたOBの皆様方のご支援、ご協力に大いに期待を寄せる所です。

言うまでもなく、予測される東海、南海、東南海地震のみならず、今では地球の到る所で多くの人々に襲いかかる災害に対しては、人々が平素より一致協力して対応しなくてはなりません。例えば私たちはNPO法人「都市災害に備える技術者の会」を立ち上げて志を一にする人たちと共に、これに当ろうと励まし合って行動に移しております。

幸いにも会員の皆様も周りの仲間達も少しずつですが目的に向かって歩み出しました、…。それは協働した確実な一歩です。推進会議に関心をお寄せいただき、来るべき難関を克服しようではありませんか。

皆様のご多幸を祈願しております。

以上

### 2. 活動報告

#### (1) 第一回防災・減災ネットワークづくり

##### 推進会議開催される

6月18日(日)14時から神戸国際協力交流センター会議室で、内閣府、国交省、近畿各府県や神戸市の防災関係者と本会より笹山理事長や室崎、溜水、梅田、三輪各氏ほかを含め20名出席の元で開かれました。昨年8月に始められた都市災害に備える防災・減災ネットワークづくりの準備活動としての関係者のミーティングは3回を数えたが標記の推進会議に移行しようとなりました。(司会進行山田)

当日は笹山理事長の開会のご挨拶でネットワークづくりと組織OBの活動参加の必要なことを話されました。以後この会議を通してネットワークづくりの具体化を計ったり、組織相互に情報を交換したり、発信したりする場として育てることになりました

出席者よりこの推進会議に対する期待をこめて自己紹介などが行われましたが、特に渋谷室長(国交省)、青木企画官(内閣府)からは柴田都市・地域整備局長、山本住宅局長や、榊政策統括官(防災担当)の会議発足の祝辞をご披露頂きました。有難うございます。(文責・山田俊満)

#### (2) 第10回 '06 震災対策技術展セミナー・展示

##### 「私たちは都市災害に備えて活動を始めました ～公共団体と市民たちのネットワークづくり」

第10回震災対策技術展(1月17日、神戸国際展示場)において、“私たちは都市災害に備えて活動を始めました - 公共団体と市民たちのネットワークづくり - ”と題するシンポジウムが、(社)日本技術士会近畿支部建設部会主催、当会共催で開催されました。

シンポジウムでは、当会の活動経過が報告されたほか、都市計画、土木、建築各界と日本技術士会、当会など関係者約120名の参加を得て、熱心なディスカッションが展開されました。

冒頭、都丸徳治氏（日本技術士会会長）、村山涼二氏（近畿支部長）が挨拶され、山田俊満当会副理事長より、本シンポジウムの趣旨と経過報告が行われました。

総括・コーディネーターである山田の進行で、第一部・第二部共に進められました。内容は次の通りです。

第一部シンポジウム「市民達の防災・減災ネットワークづくり」は、7名のパネリストを迎え、講演会方式によるシンポジウムが行われました。

第二部対談「市民たちと公共団体のネットワークづくり」は、森民夫長岡市長を交え、笹山幸俊理事長、向井通彦泉南市長の3名による対談（小講演会方式）が行われました。

最後に、シンポジウム提言が配布され、山田が挨拶を行って閉会しました。

また、17、18日の両日、同展示場においては、日本技術士会近畿支部建設部会と本会の関係を中心とした協力のもと、他の多くの防災関係の展示などに展示も行われ、両日で約2,000名の来場者がありました。

（山崎和人、湯原徹、山田拓広、森田孝雄  
山田俊満 記、山崎和人 要約）

<注>上記の内容について、より詳しくお知りになりたい方は事務局までお申し出下さい。（事務局）



都丸日本技術士会長

**(3)平成17年度 関東地方整備局主催  
防災講演会が開催されました  
「首都直下地震への備え」  
- 阪神・淡路大震災に学ぶ -**

今年1月26日午後1時半より、さいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂で五百名を越す超満員の聴衆を集めて講演会が開催されました。

まず主催者、門松関東地方整備局長より歓迎と開会のご挨拶があり早速講演開始。

まず山田より本会の活動目的や内容とメンバー紹介などを行ってから、笹山理事長の「阪神・淡路大震災をふり返っての教訓、ネットワークづくりを通じての防災・減災対策への着手の呼びかけ」と、室崎先生より「技術面とソフト面よりの取組みが大切であり、一刻も早い取組みを」と語られました。

講演会には日本技術士会の梅田元会長、清野前会長も出席しておられたが、熱気に満ちた講演会は好評の内に4時半に終了しました。以上

（文責：山田俊満）

#### **(4) 防災シンポジウム：安全・安心の街づくりをめざして～東南海・南海地震に備えて～**

3月5日に大阪府泉南市総合福祉センター（あいびあ泉南）において「防災シンポジウム：安全・安心の街づくりをめざして～東南海・南海地震に備えて～」がNPO法人都市災害に備える技術者の会主催、社団法人日本技術士会近畿支部および泉南市防災技術者の会後援で開催されました。

司会は藤江淑文氏（泉南市防災技術者の会）、パネリスト（講師）は向井通彦泉南市長、笹山幸俊NPO法人理事長、窪田敏行近畿大学教授の3名、コーディネーターには山田俊満NPO法人副理事長が当たりました。当日の参加者は100名余りでした。

シンポジウムは13時より笹山理事長の開会挨拶の後、向井泉南市長が泉南市の防災対策の取り組み、特に防災ネットワークについて講演され、笹山理事長が阪神大震災の教訓と防災ネットワークづくり、特にNPO法人都市災害に備える技術者の会の設立の経緯と今後の活動について、窪田教授が巨大地震と建物の耐震性について講演されました。その後の質疑応答では、今話題となっている姉齒元建築士に始まる耐震偽装問題が取り上げられ、熱心な討論の後16時頃閉会しました。

（記録 湯原徹）

## (5) E-ディフェンス見学会 報告

(社)日本技術士会近畿支部建設部会とNPO 法人都市災害に備える技術者の会合同で兵庫県三木市にある独立行政法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター(E-ディフェンス)の見学会を、2006年3月24日(金)に行いました。日本技術士会近畿支部建設部会では、この施設が建設中の2002年8月にも見学会を開催しましたが、完成後は初めての見学会です。

当初計画では、地盤の側方流動による矢板護岸とその背後の建物基礎杭の地震時破壊実験を見学する予定で当初25名の参加申込がありました。しかし、振動台実験が前日の23日(木)に変更になり、かつ一般公開の形で行われることになったため、今回の見学会は10名の参加となりました。



前日に実施された振動台実験

防災科学技術研究所の原田龍太郎氏のご案内で、E-ディフェンスの概要やこれまでの実験のビデオを拝見した後、振動台の下の巨大な装置や、加圧施設などの見学をさせていただきました。施設内には、前日に実施された実験装置や、2月に行われた別の実験装置がまだ置かれており、それらについても説明



見学会参加者

を受けました。

今年の秋には、鉄筋コンクリート建物の振動台実験が予定されており、そのときにもまた見学会を企画したいと考えております。

(文責：太田英将・山崎和人)

## (6) WG-C (谷埋め盛土防災を考える)

第1回個別ワーキングが4月28日(金)に有限会社太田ジオリサーチ大阪営業所(兼 当NPO法人の大阪事務所)で開催されました

議題は「谷埋め盛土の地震時対策の普及・広報の具体的方法について」でした。参加者は6名でした。今後、広報資料のたたき台を早急に作成し、わかりやすいパンフレット作りを行うことが合意されました。

## (7)WG-D (当NPO法人の今後のあり方を考える)が立ち上がりました

このWGの目的は「当NPO法人が設立されて満2年が経過した。この間、震災対策技術展への参加をはじめとして数回にわたる研修会や近畿各府県間の防災・減災ネットワークづくり、また、WGによる活動や受託業務など数多くの実績を積み重ねてきた。一方、これらの活動を通して接触した行政や有識者の皆さんからは貴重なご意見や期待も寄せられている。これらを踏まえて、今後当NPO法人が社会に貢献し、防災・減災に役立てるためには何をなすべきか、また何ができるのかについてその方向性を考える。」というものです。伊藤WGリーダーを中心に今後活動をしていくこととなります。

## (8)平成18年度 通常総会開催

平成18年通常総会が、平成18年7月8日(土)14:00~15:00に、こうべまちづくりセンターにおいて開催されました。



## (9)第11回研修会開催

第11回研修会が、平成18年7月8日(土)15時~17時に、こうべまちづくりセンターにおいて開催され、近畿地方整備局企画部防災課吉村元吾氏をお迎えし、「近畿における防災・危機管理への取り組み」と題してご講演いただきました。

### 3.事務局より

#### =ニュースレター発刊遅延のお詫び=

野阪事務局長の退任に伴う事務局員の交代引継ぎ等の事情により、ニュースレターの発刊が大幅に遅延いたしましたこととお詫びいたします

#### WGのご案内

随時WGを開催しています。活動中のWGは、

三輪泰司さんがリーダー

「まちづくり・教育」WG

石川浩次さんがリーダー

「津波・地震災害軽減を考える」WG、

太田英将さんがリーダー

「谷埋め盛土防災を考える」

伊藤東洋雄さんがリーダー

「当NPO法人の今後のあり方を考える」

WGに参加するためには登録が必要です。

詳細はホームページでご確認ください。

<http://toshisaigai.net/wg/working.html>

#### 会費納入のお願い

本年度(18年度)の会費の納入がまだの方は、すみやかに振込みいただきますようお願い申し上げます。

【振込先】

銀行名：みずほ銀行

支店名：天満橋支店

口座番号：8072070

口座名：特定非営利活動法人

都市災害に備える技術者の会

#### 原稿募集

会報誌の作成のため、積極的な活動と原稿投稿をお願い致します。

投稿をされたい方は、事務局までお知らせください。

#### 変更届け提出のお願い

ご入会後に勤務先、住所などに変更がある場合、変更届けの提出をお願いいたします。

変更届は、HPよりダウンロードできます。すみやかにご提出いただきますようお願いいたします。

#### ~ご挨拶~

事務局長の野阪とともにNPO法人都市災害に備える技術者の会の事務局のお手伝いを微力ながら務めさせていただいておりましたが、このたび野阪は18年3月をもちまして退職いたしました。ご挨拶もできず申し訳ありませんでした。

また、今年4月より社内事情により私が担当させて頂いておりましたニュースレターの編集も担当者が変更となりました。この書面をお借りしてお礼とご挨拶申し上げます。

後任者は西出英子さんです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO法人都市災害に備える技術の会がますます発展されますこと、心よりお祈り致します。

(株)建設技術研究所 藤岡博子

#### 只今の会員数

賛助会員 7団体

- ・ 神戸市安全協会の会
- ・ 神戸市建築協会の会
- ・ 神戸市測量設計協会の会
- ・ 「土木の学校」神戸の会
- ・ (株)地層科学研究所
- ・ (株)建設技術研究所
- ・ (株)ニューメディアカテック

個人会員 57名

#### = 編集後記 =

藤岡さんに替わって事務局のお手伝いをすることになりました。まだまだ不慣れなため、至らない点も多いかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。 西出英子